



1. 気象概況（中野市長丘地区気象ロボット観測データによる）

月間 \ 旬別	上旬		中旬		下旬		月間		コメント
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	
5 月平均気温（℃）	15.6	13.8		14.1		16.4		14.8	上旬平年比+1.8℃
5 月降水量（mm）	13.5	17.8		17.5		29.8		65.1	上旬平年比 76%
5 月日照量（h）	80.0	69.9		60.8		76.6		207.3	上旬平年比 114%

- 今冬の－10℃以下の日は 17 日観測（内訳：12 月 5 回、1 月 8 回、2 月 4 回）。最低気温は 12/28 の－16.5℃。
- 4 月上旬は最高気温が 15℃以上（4/3 に 24.9℃、4/4 に 22.1℃）を 4 日観測し、平均気温は平年比+2.4℃、最低気温が平年比+4.2℃等高温で経過した。また、降水量も平年比 106%（4/1 に 6.5 mm、4/6～8 に合計 8.0 mmの降雨量を観測）と 3 月下旬から続いた土壤乾燥状態は解消された。尚、曇天の日が多く、日照時間は平年の 4 割弱と非常に少なかった。
- 4 月中旬は、低日照・曇天が顕著であった。降水量は平年の 312%と非常に多く、日照量は平年の 50.3%と上旬に続き極端に少なかった。果樹類の開花前に当たる 4 月上中旬の合計日照量は平年の 44%と記録的に少なく、進んでいた果樹類の生育が停滞する要因となった。また、日照不足による欠乏症状が心配される。
- 4 月下旬は平均・最高気温が平年を大幅に上回った。（平年平年比+3.0℃、最高平年比+5.4℃）降水量は平年の 30%と非常に少なく、土壤乾燥が著しかった。晴天の日が多く日照量は 154%と非常に多かった。（異例の 100 時間超え）
- 4 月は、平均気温が上旬・下旬が平年より大幅に高く、月間では平年比+2.0℃高く経過した。降水量は、中旬が曇天の連続であったため特異的に多く、平年比 140%で経過した。日照量は、下旬が非常に多く経過したが、上中旬が平年の半分以下であったため月間では平年比 82%にとどまった。
- 5 月上旬も高温・乾燥が続いた。4/27～5/7 まで最高気温が 11 日間連続夏日を観測。加えて、この期間に最大 10m/s 以上の強風を連日観測。5/4～6 にかけて、約 2 週間ぶりの降雨を観測し極度の土壤乾燥状態は解消された。（5/1 25.6℃、5/2 29.4℃、5/3 27.3℃、5/4 27.9℃（最大 13.5m/s）、5/4～5 合計 10.0 mm）月間の降水量は平年の 76%、月間の日照量は平年の 114%で経過した。
- 5/11 早朝に 1.8℃の低温を観測。5/12～13 に台風 6 号が接近し、強風と雨（夜半～明け方）を観測。（5/12～13 合計 9.0 mm、5/12 12.4m/s、5/13 11.3m/s）台風通過後は夏日が続いている。最低気温も 10℃以上で生育が促進されている。

2. 品目別生産の経過・病虫害発生状況・今後の対策

🌸 りんご

- ・ 4月下旬の高温で開花まで満開まで一気に到達。南部で 4/28、平岡で 4/29 頃、岩井沖でも 5/2 頃確認。昨年より 4～5 日早い。
- ・ 秋映・つがる等の開花前の低温傷害と見られる中心花の欠落や軸が短いものが見られる。特に平坦地で多い状況。
- ・ 腐らん病が蔓延している。枝単位の病斑も目立つ。発生程度は平年より多く、発生時期も早い。
- ・ 開花期間の高温・乾燥や強風により、ふじにカラマツが多い。変経果や肥大のバラツキも大きい。
- ・ 展葉の曇天・降雨で感染が心配された黒星病の発生は現状ない模様。5 月末までは一定の間隔で防除を進める。
- ・ マイマイガの幼虫の食害が散見される。(数ミリ程度の微細の穴) 発生程度は昨年より少ない状況。

🌸 もも・ネクタリン

- ・ ハウスもも日川白鳳(1 件) 満開：2/24、初出荷：5/8。生産量は昨年並み。出荷進度はやや早まる見込み。
- ・ ネクタリンは吉田地区で 4/20、平岡地区で 4/21 で満開を確認。もも白鳳は日野地区で 4/20、高丘地区(草間沖)で 4/21、平岡地区で 4/23 頃満開を確認。昨年より 5～6 日程度早い状況。開花期間は平年より長い傾向であった。また、品種毎の生育差もやや大きい傾向であった。
- ・ 開花期前後の低温・降雨・強風によりせん孔細菌病の早期多発が心配される。当面は薬剤散布間隔 10 日と枝病斑の切除を併用し、菌密度を高めない対策を講じる。
- ・ 縮葉病の発生が目立つ。発芽直後に感染したものと見られる。

🌸 ナシ類

- ・ ラフランス老木樹で腐らん病が多い。発生程度は平年より多い。至急、病斑部の削り取り処理等を実施する、
- ・ 満開は南水で 4/26 頃(田麦沖)、ラフランスで 4/27 頃(田麦沖) 確認。昨年より 4～5 日早い。受粉作業も順調に実施できた模様。
- ・ ラフランスの結実良好で一定の結実量を確保できた模様。一輪摘果を早めに進め、肥大促進に努める。
- ・ 南水の結実ほぼ良好で、一定の結実量を確保できた模様。現段階では、全体の生産量は昨年をやや下回る見込み。
- ・ 5 月初旬からアブラムシ類の発生が見られる。新葉を巻く被害が発生している。

🌸 プラム・プルーン

- ・ 4/12 頃太陽で開花。4/16 満開。満開は昨年より 9 日早い。4/27 頃落果。開花期間は 15 日と平年より 3～4 日長かった。
- ・ 主力品種の太陽は、北部地帯で結実が悪い状況。開花期間の曇天により人工授粉が満足にできなかったことが影響している。
- ・ ふくろみ病の発生が目立つ。発芽直後に感染したものと見られる。北部地区に多い状況。
- ・ 5 月初旬からアブラムシ類の発生が見られる。新葉を巻く被害が発生している。
- ・ 大石早生・紅りょうぜん・静香・秋姫の結実ほぼ良好。

🌸 加温サクランボ・露地サクランボ

- ・ 3/22 初出荷。5/10 時点：出荷者 14 名、前年対比 数量：81%、単価 108.6%、金額 88%
- ・ 開花期を迎えた品種(樹)で、貧弱花芽が散見される。場合によっては、側枝整理や摘蕾を実施する。
- ・ 3 月下旬～4 月初旬の高温により、成熟が進み前進出荷となったが、その後の低日照・曇天により収穫進度は停滞した。ハウス内の多湿が影響して灰星病、花腐れ、微量要素欠乏の発生が多い。
- ・ 大型連休中の高温で、収穫前の品種にうるみ果、裂果の発生が多く、減収の要因となっている。

3. 果樹類生育調査

平年値は過去 10 年の平均

🌸 りんご ふじ（調査地点：平岡若宮）

年度	発芽	展葉	開花	満開	落花	開花期間	（発芽日）果樹試 エゾノコリンゴ
平年	4／4	4／15	5／2	5／5	5／11	9	2／14
H25	4／1	4／9	5／2	5／6	5／13	11	2／14
H26	4／3	4／15	5／2	5／3	5／10	8	2／20
H27	3／31	4／8	4／27	4／29	5／4	7	2／8

🌸 もも 白鳳（調査地点：平岡若宮）

年度	発芽	展葉	開花	満開	落花	収穫	満開～収穫
平年	4／2	4／23	4／22	4／27	5／4	8／2	98
H25	3／28	4／19	4／18	4／25	5／7	8／3	100
H26	4／2	4／24	4／23	4／29	5／5	8／2	97
H27	3／31	4／18	4／18	4／23	5／1	8／1？	100？

🌸 和梨 南水（調査地点：長丘田麦）

年度	発芽	展葉	開花	満開	落花	収穫	満開～収穫
平年	4／8	4／24	4／27	5／1	5／7	9／23	146
H25	4／5	4／23	4／25	4／29	5／6	9／16	140
H26	4／10	4／24	4／26	4／30	5／6	9／18	141
H27	4／3	4／24	4／24	4／26	5／1	9／18？	145

🌸 西洋梨 ラフランス（調査地点：長丘田麦）

年度	発芽	開花	満開	落花	収穫	満開～収穫
平年	4／7	4／28	5／1	5／7	9／30	153
H25	4／4	4／26	4／30	5／6	9／29～	152
H26	4／9	4／27	5／1	5／6	9／27～	149
H27	4／2	4／25	4／27	5／1	9／24～？	150

🌸 プラム 太陽

年度	発芽	開花	満開	落花
平年	3／25	4／16	4／23	4／28
H25	3／22	4／13	4／18	4／24
H26	3／30	4／17	4／25	4／29
H27	3／22	4／12	4／16	4／27

マイマイガの防除について（参考資料）

マイマイガ（ケムシ類）は昨年長野県内で多発し、街路樹等に越冬卵塊も多く見られるため、果樹園での被害発生が心配されます。5月連休過ぎになると幼虫が大型化し、防除が難しくなります。従って、春先から防除を徹底して、発生密度が高くないように注意してください。

1. 防除のポイント

- ① 越冬卵塊の除去（3～4月上中旬）
- ② 孵化完了期の薬剤防除（4月下旬～5月上旬）…BT剤、IGR剤、ジアミド剤
- ③ 幼虫移入期の薬剤防除（5月中下旬～6月）…合成ピレスロイド剤、ネオニコチノイド剤他

街路灯や住宅近くの明るい果樹園は、越冬卵塊が多く特に注意が必要です。上記の通り防除のポイントは3つありますが、越冬卵塊の除去はマイマイガ防除で最も有効な手段であるので、卵塊を見つけたらできるだけ除去するようにしてください。また、薬剤のよる防除は下記を参考にしてください。

2. 時期別薬剤防除スケジュール

時期	薬剤名	倍率
4月中下旬～5月上旬 （孵化完了期）	ロムダンフロアブル（IGR剤）	3,000
	サムコルフロアブル 10（ジアミド系）	2,500～5,000
	フェニックスフロアブル（ジアミド系）	4,000～6,000
	バイオマックス DF（BT剤）	2,000～3,000
5月中下旬～6月 （幼虫移入期）	サムコルフロアブル 10（ジアミド系）	2,500～5,000
	フェニックスフロアブル（ジアミド系）	4,000～6,000
	ディアナ WDG（ジアミド系）	5,000～10,000
	モスピラン顆粒水溶剤（ネオニコチノイド系）	2,000～4,000
	バリアード顆粒水和剤（ネオニコチノイド系）	2,000～4,000
	アディオンフロアブル（合成ピレスロイド系）	1,500
	アーデントフロアブル（合成ピレスロイド系）	2,000

◆ 注意事項

- ① マイマイガの生育ステージに併せて散布することが基本です。薬剤散布が遅れると、幼虫が大型化し防除困難になりますので、密度の低い4月中下旬意識して薬剤散布を行うことが重要です。
- ② 4月下旬～5月上旬は、訪花昆虫保護のため、昆虫の影響のない薬剤を使用してください。
- ③ 5月中下旬になると、山林等で大型化した中年幼虫が果樹園に盛んに移入し、短期間に多大な被害をもたらすので、速効的かつ残効の長い合成ピレスロイド剤を使用する。

アメリカシロヒトリの防除について（参考資料）

アメリカシロヒトリの一般的な薬剤防除については下記を参考にしてください。尚、地域によっては効果が著しく低下している薬剤もありますのでご注意ください。

5月中旬頃から越冬世代の発生がします。密度が高くなる前から計画的に防除することが大切です。詳しくは園芸技術課担当までお問い合わせください。

3. 防除時期

- ① 若齢幼虫期に防除するのが最も効果的。
- ② 老齢幼虫になると発生密度が高くなり、葉を暴食するので薬剤による防除は困難になる。
- ③ 孵化直後の幼虫は巣網を張って群生し、葉脈を残して葉を食べるため、被害葉は透けてみえる。次第に巣網は大きくなり、目につきやすくなり、その後、幼虫は分散する。

以上の特性から 3 段階に分けて防除することが効果的である

- 越冬世代幼虫…5月中旬～6月上旬頃発生
- 第1世代幼虫…6月中旬～7月上旬頃発生
- 第2世代幼虫…8月上旬～9月上旬頃発生

4. 防除スケジュール（案）

時期	薬剤名	倍率
5月中旬～ 6月上旬	フェニックスフロアブル（ジアミド系）	4,000～6,000
	サムコルフロアブル 10（ジアミド系）	2,500～5,000
	モスピラン顆粒水溶剤（ネオニコチノイド系）	2,000～4000
	バリアード顆粒水和剤（ネオニコチノイド系）	2,000～4,000
6月中旬～ 7月上旬	スミチオン乳剤（有機リン系）	1,000
	ダイアジノン水和剤 34（有機リン系）	1,000
	フェニックスフロアブル（ジアミド系）	4,000～6,000
	サムコルフロアブル（ジアミド系）	2,500～5,000
	ディアナ WDG（スピノシン系）	5,000～10,000
8月上旬～	バイスロイドEW（合成ピレスロイド）	2,000
	アディオンフロアブル（合成ピレスロイド）	1,500
	アーデントフロアブル（合成ピレスロイド）	2,000
	イカズチWDG（合成ピレスロイド）	1,500

- ◆ ディプテレックス乳剤は製造しておりません。農家在庫がある場合のみ使用してください。
- ◆ 有機リン系のダイアジノン水和剤やスミチオン乳剤だけでは、効果が発現しにくい場合もありますので、ジアミド系殺虫剤（フェニックス F やサムコル F 他）も併せて使用すると効果的です。
- ◆ 多発時（盛夏期）は薬剤効果が著しく低下するので、その場合は速効的にかつ残効が長い合成ピレスロイド剤を使用する。

1. 使用薬剤

- 結実状況を十分に確認してください。極端に着果量が不足している場合は、薬剤摘果は行わないようにしてください。
- 効果発現を高めるため、基本的には単剤で散布してください。

水	100 リットル	500 リットル	600 リットル
アプローチ B I （333 倍）	300ml	1500ml	1800ml
ミクロデナポン水和剤（1200 倍）	83g	415g	498g
散布量：500 リットル ／10 a			

～ 散布時の注意事項 ～
① 展着剤アプローチ BI に代えて、ニーズ 1000 倍でも良い。
② ミクロデナポン（水）は果皮、果柄や果台から発生した新梢（葉）から多く吸収される。よって、果実及び花そう葉に十分かかるように散布する。
③ 散布量が少ないと効果が落ちる場合があるので、多めに設定する。
④ 結実が悪い園、毎年生理落果の多い樹や園、極端に樹勢が弱い樹、強い樹は散布しない
⑤ 焼酎（20％）1000 倍加用すると効果があがる。

2. 散布時期について

- 目通り中心果の横経が 10～12mm 程度の時。
- 中心果の測定位置：目通りの高さ
- ふじは生理落果の少ない品種なので最も落果の多くなるタイミングで散布する。
- この時期の果実は 0.5～0.7mm 程度 1 日肥大する。（10 日間で約 5 mm～7mm 伸びる）

満開日	14日後		16日後		21日後
4月27日	5月11日	～	5月13日	～	5月18日
4月28日	5月12日	～	5月14日	～	5月19日
4月29日	5月13日	～	5月15日	～	5月20日
4月30日	5月14日	～	5月16日	～	5月21日
5月1日	5月15日	～	5月17日	～	5月22日
5月2日	5月16日	～	5月18日	～	5月23日
5月3日	5月17日	～	5月19日	～	5月24日
5月4日	5月18日	～	5月20日	～	5月25日

下記の表は現段階の予定です。参考にしてください。

品目名	品種名（台木種他）	助成割合（%）	要件他（導入面積・本数他）	活用事業名
りんご	百年ふじ （台木種類：丸葉・J M）	30	1 本から可	市単（中野市）
	長ふ 12 （台木種類：丸葉・J M）	30	1 本から可	市単（中野市）
	らくらくふじ （台木種類：丸葉・J M）	30	1 本から可	市単（中野市）
	赤色果肉品種 （台木種類：丸葉・J M）	20	1 本から可	J A 研究開発
	わい化栽培用施設（資材）	20	支柱・固定線他	J A 研究開発
もも	秘味黄金・白鳳 あかつき・なつっこ 川中島白桃・黄金桃 白根白桃・G P	30	• 導入面積 5a 以上 • 購入本数 10 本以上	園芸特別対策
ネク	サマークリスタル ファンタジア 秀峰	30	• 導入面積 5a 以上 • 購入本数 10 本以上	園芸特別対策
ぶどう	シャインマスカット ナガノパープル クイーンニーナ 巨峰	30	1 本から可	市単（中野市）
果樹類 ＊①	改植後 りんご・もも 梨・ぶどう サクランボ・柿・プラム くり・梅・キウイ F 他	定額 16 万円／10a	• 2 a 以上 • 5 a 以上 5ha 未満の場合 未収益期間支援 20 万円／ 10 a	果樹経営支援対策 （国庫）
果樹類	改植後 りんご新わい化栽培 梨等ジョイント栽培	定額 32 万円／10a	• 2 a 以上 • 5 a 以上 5ha 未満の場合 未収益期間支援 20 万円／ 10 a	果樹経営支援対策 （国庫）

注意事項

- ① 改植後の品目（栽培方法）が何であるかによって助成内容が変わります。
- ② 27 年度果樹支援対策事業は新植の場合でも、事業費の 1/2（5a 以上の場合は未収益期間支援 20 万円／10a）定率補助の対象となる見込みです。
- ③ 27 年度果樹支援対策事業の新植の対象品種は一定の要件が付く見込みです。（種苗法、栽培実績他）
- ④ 27 年度の取りまとめは 7 月頃を予定しています。